



令和5年度 第3回福岡県部活動改革セミナー分科会② 2023年10月23日(月)13時15分~14時15分

場所:福岡県中小企業振興センター

NPO法人新町スポーツクラブと新町中学校との協働となるまでの取組の歴史

紆余曲折があっても信じた道を青少年とともに歩んだ歴史



高崎市の飛び地 山椒は小粒でも ピリリと辛い 新町SVCスポーツ少年団代表指導者

小出利一

NPO法人新町スポーツクラブ理事長 (shinmachi-sc.org)

スポーツ庁 地域スポーツクラブ活動アドバイザー

群馬県教育委員会総括コーディネーター

(学校部活動地域移行 地域クラブ活動関係)

SC全国ネットワーク関東ブロック代表常任幹事・広報部会長・群馬県代表委員 群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会副会長

(一社) 群馬県パラスポーツ協会理事

今日の内容





歷史

- ・自己紹介と新町の紹介
- ・中学生からのリクエストで始まった歴史

衰退と

発展

- ・衰退した要因
- ・衰退期からの脱却へ

みらい

- ・ドイツから学んだ青少年活動の環境
- ・行政も大人も意識改革が必要

自己紹介

小出利一(こいで としかず)65歳 誕生日1958年(昭和33年)3月7日

(公認ジュニアスポーツ指導員・公認クラブマネジャー)

1967年度 (昭和42年) 小4 スポーツ少年団と出会う

1972年度(昭和47年) 第10回全国スポーツ少年大会出場

1973年度(昭和48年) 第11回全国スポーツ少年大会兼第6回中央リーダースクール修了

1977年度(昭和51年) 群馬県スポーツ少年団リーダー会結成

1978年度(昭和52年)第8回関東ブロックスポーツ少年大会を県リーダー会会長としてリーダー会主導で大会運営

1981年度(昭和56年) 西ドイツ・スイス単独訪問

1988年度(昭和63年) 群馬県スポーツ少年団常任委員

1993年度(平成5年) 日本スポーツ少年団指導者ドイツ研修会へ派遣団員として参加

1997年度(平成9年)

日本体育協会からスポーツ少年団を核とした総合型地域スポーツクラブ育成モデル地区指定受託

1999年度(平成11年)糸満市西崎アスリートスポーツ少年団と交流開始

ニュルンベルク市スポーツユーゲント青少年交流開始

2000年度(平成12年)群馬県初の総合型地域スポーツクラブ設立

2002年度(平成14年度)テレビ朝日「ニュースステーション」スポーツ特集

「スポーツ少年団とは」を宮嶋泰子氏と作成

2010年度 (平成22年) 新町スポーツクラブをNPO法人化

2011年度(平成23年)ドイツ連邦共和国から日独友好150周年 感謝状授与

日本体育協会生涯スポーツ育成委員会中央企画班班員として

総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013作成

2013年度(平成25年)「生涯スポーツ功労賞」 文部科学大臣表彰

2017年度(平成29年)独自のドイツスポーツクラブ研修会開始



1981年初 西ドイツ訪問の私(当時22歳)



2023年 指導中の私(65歳)





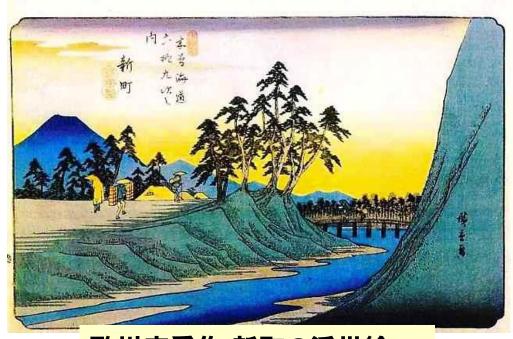


https://www.youtube.com/watch?v=IIIF4mS4BoI&t=29s



我が愛する町 新 町

中山道、江戸から11番目の宿場町として栄え、 明治10年に官営屑糸紡績工場が開業(現在も工場が存在) 江戸時代から外からの人達を受け入れる歴史がある地域 鉄道唱歌 北陸編 11番にも歌われている町



歌川広重作 新町の浮世絵 新町の温井川付近です。



現在も似たような風景です

▶ 平成18年1月、高崎市と合併(合併前は多野郡新町)
新町当時、人口密度町の部日本一・下水道連結率99%日本一



- ▶ 面積 3.74km 人口 約12,000人 高齢化率28%前後 東京から98Kmの距離
- ▶ 学 校 小学校2校(児童数516名)、中学校1校(生徒数322名)2023年4月現在 上武大学高崎キャンパス(ビジネス情報学部・看護学部)
- ▶ 交通機関 JR高崎線新町駅(東京・新宿へ乗り換えなし)・高速道路のICは新潟方面、 東京方面、長野方面と別々のICを選択できて、いずれも10分程度で利用可能
- ▶ 産業 ハラダのラスクの本店、ハーゲンダッツ工場(世界で4か所の内の1か所)、 高梨乳業、クラシエフーズ、テーブルマークの工場、陸上自衛隊駐屯地
- ▶ 日本初・群馬県初が多い地域

官営屑糸紡績工場開設、鉄道の駅開業、2車線道路、スリーデーズマーチ発祥、総合型地域スポーツクラブ設立、なぎなた国体正式種目、ボーイスカウト活動県内発祥の地など

事前に頂いた 講演内容の希望事項

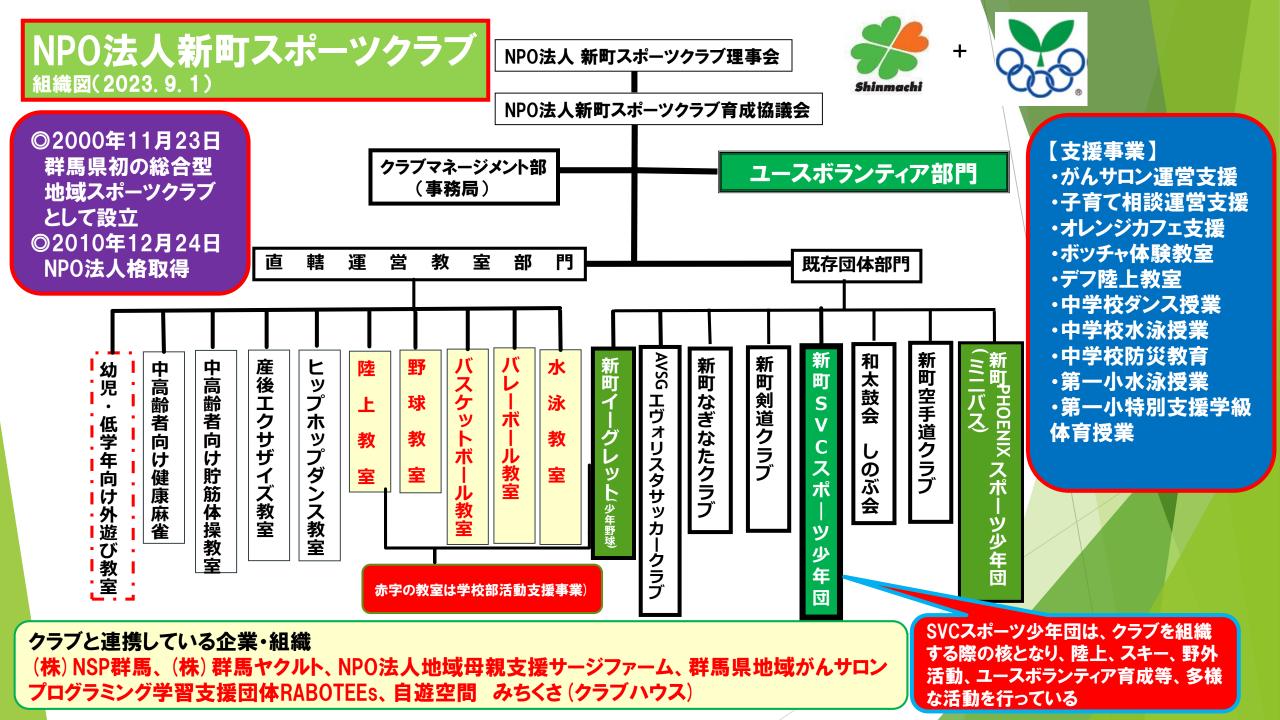
- ・講話の中心として、新町クラブと新町中学校との連携・協働の在り方を詳細にご教示いただきたい。
- ・将来的な姿やそれに向けたスケジュール、行政に向けた要望等(参加者には行政もたくさんいるので) もお願いしたい。

2001年10月 スポーツ少年団の 中学生と高校生の意見で始まった





2000年11月 新町スポーツクラブ創立時、中学生・高校生へ「新しいこと、何をしたら良いだろう?」 中学生「私たちの部活は顧問が基礎を指導できない。基礎から指導してもらいたい。」 高校生「部活に入らなくても地域で気軽にスポーツできる環境にして欲しい」



現状:発展途上の学校部活動改革

- ▶ 青少年達からの提案でスタートした中高校生バレー・バスケ教室 (2001年10月から)
- ▶ 2021年4月に着任した校長自らの申し出によってスタートした 野球教室(2021年11月から)
- ▶ 中学校からのリクエストによって、クラブが連携している町内屋内プール指定管理企業の協力でスタートした水泳教室 (2022年4月から)
- ▶ 平成19年度陸上部復活に支援して、途中で指導者の仕事の都合で活動が休止した陸上教室を再開(2022年6月から)
- ▶ 2023年2月、生徒、保護者、教員に対してアンケート実施
- ▶ 2023年度内に、吹奏楽、卓球、剣道についても開始予定

創設57年目新町SVCスポーツ少年団活動

新町スポーツクラブ設立の核となったスポーツ少年団

ふるさと探訪ウォーキング 白鳥見学

バランス力、瞬発力、走力を養う活動 校庭バージョン







シーズンスポーツ スキー教室 高学年からスキー宿泊合宿も



「切なホイント リーダーが活躍できる環境 スポーツが好きでも、嫌いでも、得意でも不得意でも誰もが真剣に楽しみながらスポーツを体験できる環境。

スポーツ少年団は、幼児 から大人まで団員として 登録できる青少年団体。

小学生の時にいろいろな スポーツを体験すること で中学生以上になった時 にスポーツ障害を発症さ せない指導をしています



NPO法人新町スポーツクラブ活動理念

- (1) 青少年の健全育成と子どもの体力向上
- (2) いつまでも元気で活動的な中高齢者育成
- (3) 国際国内交流による地域愛の育成
- (4) 地域で育って地域で役立つ心がある人の育成

上記の活動理念を実現するために

- ① 組織作りよりも人材育成からスタート(平成9年当時は、総合型の組織について理解していなかった)
- ② オリンピック・世界選手権・国体に参加できるスポーツ種目で魅力発信
- ③ 高校がない地域性から中学生・高校生のスポーツ教室スタート(地域課題)
- ④ 地域愛を育成するための国際交流事業開始(沖縄交流は、命について考えてもらう事業)
- ⑤ 組織がしっかりする必要があったのでNPOへ、そして、高齢者事業と子育て支援へ

新町スポーツクラブライフサイクル



クラブ運営者 クラブ指導者 クラブマネジャー

中 高 齢 者 クラブを楽しみながら支えて生涯クラブ して活動できる

高校生以上は

指導する。

幼児から 小学生は 様々なスポーツ 文化体験 ができる

ユースボランティア 地域のチーム として愛され、 中学生以下を

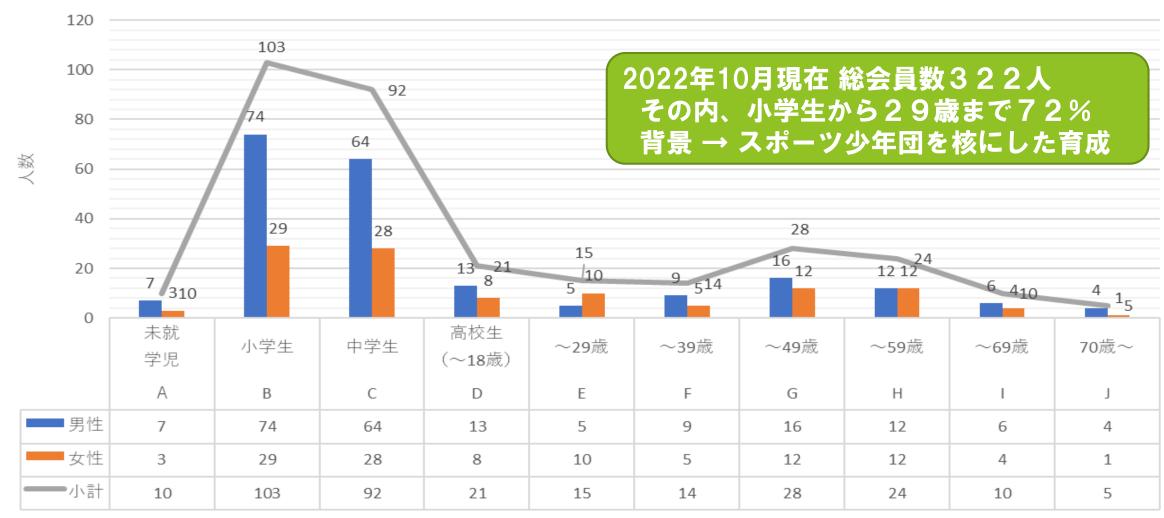
中学生から 専門的な 指導が受け られる 【23年間の活動成果】

- ◎ 現在、クラブ運営者、各種目 スポーツ指導者の多くがクラブ から育った人達
- ◎ ユーズボランティアから指導者等になった人達は、沖縄派遣、ドイツ派遣経験者が多くいる。
- 新町に住んでいなくてもクラブとして大きなイベントを開催する時は帰って来て直ぐにスタッフとして活動している
- 一度、新町から離れても新町で子育でしている人もいる。

NPO法人新町スポーツクラブ年代別会員







年代別人数

2022年度決算額と2023年度予算額

- Shinmachi
- ▶ 2022年度決算額 収入額 9,095千円 支出額 7,094千円 会費収入 900千円 主催事業収入 5,100千円等
 - ※ドイツ交流参加費 3,595千円等
 - ※ 新町スポーツ振興会から150千円
 - ※ 管理経費 1,000千円(人件費 360千円のみ)
- ▶ 2023年度予算額 収入額 6,011千円 支出額 5,400千円 会費収入 1,100千円 主催事業収入 2,040千円等
 - ※ 新町スポーツ振興会から200千円
 - ※ドイツ交流協賛金 470千円等
 - ※ 管理経費 960千円(人件費 360千円のみ)

多くの指導者は、無償ボランティア

~ 会員がスタッフ ~ ~



スタート

- ・中学生からの強い要望を受けて2001年10月から笹川スポーツ財団からの補助金で 部活動支援開始
- ・指導者には、少額の謝金を用意したが、多くが公務員のため辞退

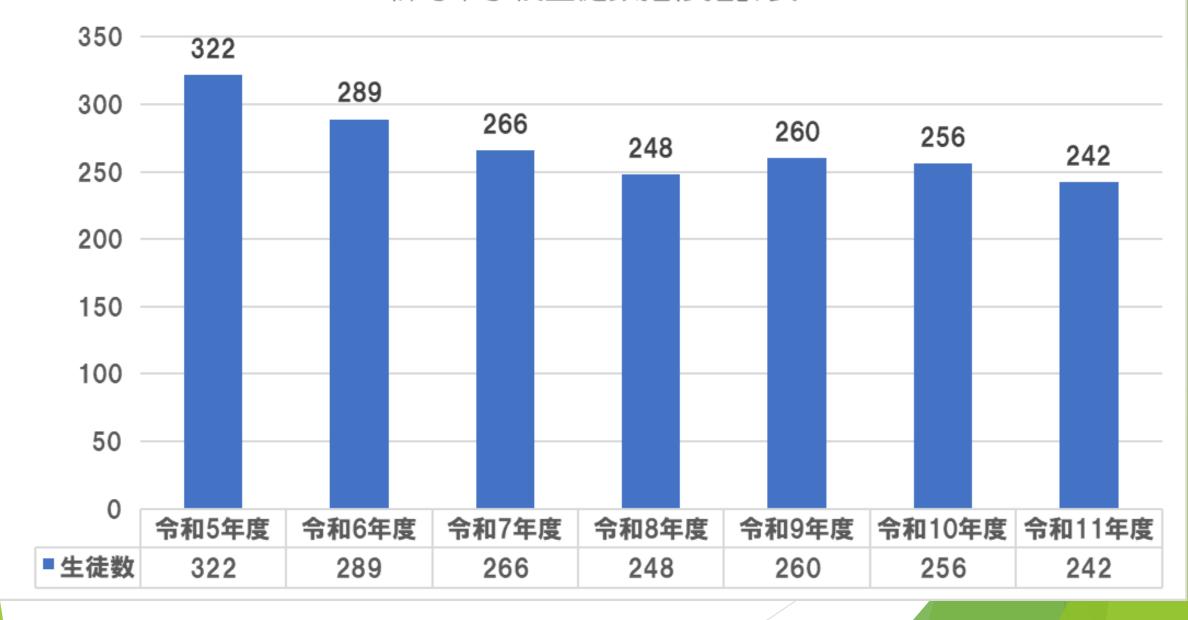
現在

- ・バレー、バスケ、陸上、コーディネーターは、地域住民が無償ボランティア
- ・野球は、中学校教員が無償ボランティア
- ・水泳は、部活動指導員(民間企業の水泳コーチ)として時給を高崎市から支給

将来

- ・有給のコーディネーター、事務職員の配置、適切な指導者謝金支給
- ・指導者も資格取得が必要な場合は、資格取得にかかる費用を補助
- ・ (夢) 中学校体育館を地域住民に開放できる施設にして管理する

新町中学校生徒数推移推計表



新町中学校との関係の歴史

痛感した学校と地域間のコミュニケーション重要性 だからこそ、学校と地域を繋ぐコーディネータが必要になる

順調にスタートした

(自分の子どもが中学生時代)

H12年度 当時の校長、 教員との強 い絆 衰退期になる

(自分も本業が忙しい時代)

校長の考え 方で関係が 薄れた 発展期(部活改革の時代へ)

H30年度から再び信頼 関係の再構 築から発展

近未来の日本の青少年スポーツ

平成30年6月 日本スポーツ協会発出提言 今後の地域スポーツ体制の在り方 ジュニアスポーツを中心として

【図2】【ステップⅢ】本会が目指すべき「新たな地域スポーツの体制」の在り方(再掲)



学校から信頼されたつづけた 最大の要因は スポーツ少年団団員の活躍

- ▶新町中学校歴代生徒会長の多くが新町SVCスポーツ少年団団員
- ▶小学校児童会長、マーチングバンド指揮者も多くが新町SVCスポーツ 少年団団員

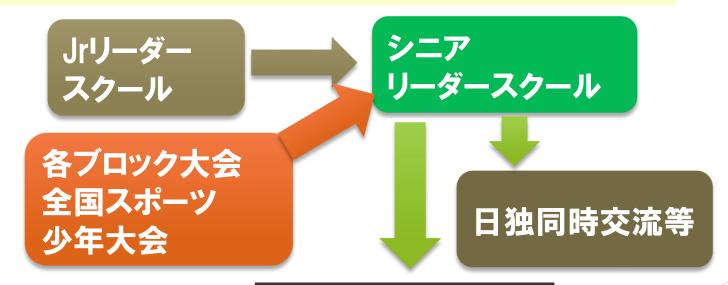
日本スポーツ少年団の人材育成システム

スポーツ少年団団員構成年齢は3歳以上大人まで

全国スポーツ少年大会 1963年~現在も継続中シニアリーダースクール 1968年~現在も継続中 1977年 日本スポーツ少年団リーダー制度確立各都道府県主催ジュニアリーダースクール開始日独同時交流 1974年~ 今年50周年



スポーツ少年団が持つ 強みと魅力的なプログラム





公認スタートコーチ等

地域で活躍する
スポーツユースボランティア
(スポーツ少年団リーダー)

高崎市新町地域 町民親善体育大会の活躍

この青少年達の活躍が地域からの 信頼を得ている原動力

子ども達のプログラムは、スポーツクラブが 企画運営全てを担当

- ・体育大会の進行役は大学生担当
- ・幼児から小学生対象の障害物競走の
- ・企画運営は、中学生と高校生担当
- ・スポーツクラブとスポーツ少年団対抗
- ・リレーも企画運営は、中学生と高校生担当
- ・その他、大会運営補助全般担当



新町スポーツクラブと学校の信頼関係



【施設利用としての信頼関係】

- ◎ 新町中学校校庭のミニゴール1組・体育館内のバレーボールネット支柱2組バレーボール等は倉庫に保管してもらい、学校にも使用してもらえる関係
- ◎ 新町第一小学校の体育館西側に倉庫2棟を置かせていただき、体育館内にも用具、ボールを保管してもらっています。

【学校事業運営補助】

- ◎ 第一小・第二小共に、総合学習の時間で障害者スポーツ体験教室を実施する際、 講師の手配、車いすの搬送、授業サボートを行っています。
- ◎ 新町中学校において、人権の関する講演会を開催する際、トップアスリートの手配体育のダンス授業支援(講師派遣と授業プログラム作成等)等の協力を行っている。
- ◎ 現在、小出理事長が新町第一小と新町中学校の学校運営委員として任命され、なおかつ、新町第一小学校の特別支援学級体育授業とプール指導補助として支援している。

大切な言葉の定義

連携

- ・学校と受け皿団体のミッションが違う
- ・利害関係で一致する関係

協働

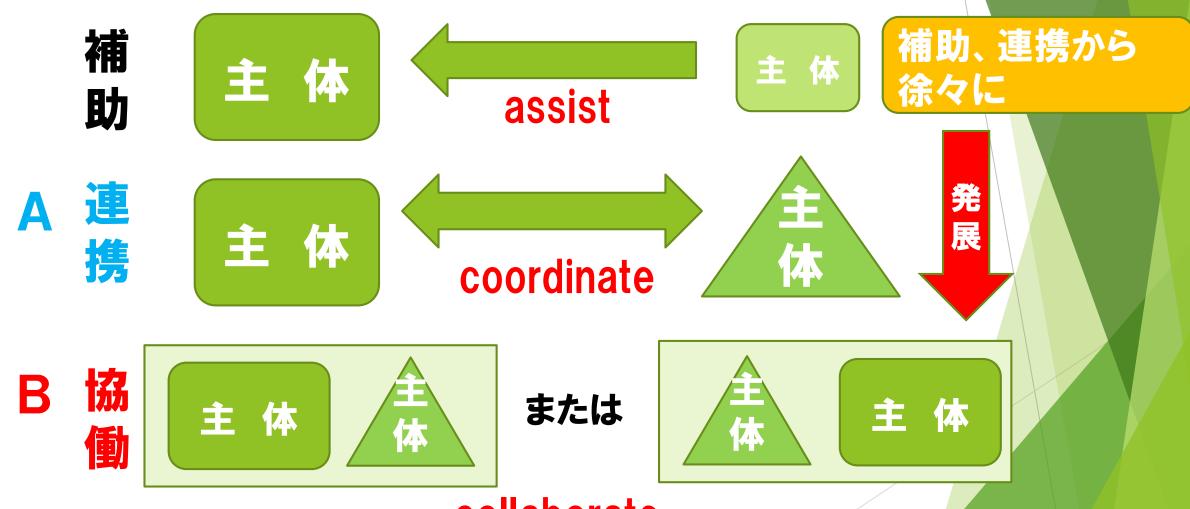
- ・学校と受け皿団体のミッションを共有する関係
- ・一緒に考えて同じ方向へ向かって進む

地域クラブ

活動

・地域で青少年達のスポーツ文化活動を多世代で支える活動(中学生だけの活動ではない)

補助・連携・協働の関係性



collaborate

地域クラブ活動における連携・協働のスタイル2

A:連携型:coordinate

同じ方向をむいている人たちが力を合わせて

ものごとを行う







例:互いに連絡を取り合い、協力して地域クラブ活動を実施する(連携のとりまとめはどちらかの主体になる可能性が大)

B:協働型:collaborate

お互いが目的を共有して当事者意識を持ち、よい結果を生み出すために協力して働くこと



新町スポーツクラブと新町中学校協働組織

新町地域として理想とする地域クラブ活動とは?

- ▶ 部活動は教育の一環という考え方から中学生・高校生の意見が反映できる地域活動へ
- ▶ 部活動が地域活動化しても塾化になることを防ぎ、公立学校として教育的視点を保ちつ つ誰でも気軽に参加できる地域スポーツクラブ活動とする。

【必要な考え方として】誰も経験したことがない改革「トライ&エラー」の考え方が重要 前例踏襲主義の排除と教育DXを踏まえた持続可能な活動となるための考え方

- ▶ 既存の地域スポーツ振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツ推進員という枠を越えて協力体制を構築する。
- ▶ 学校と密接に連携した組織を構築して、新町地域の小学生以上の青少年並びに成人が 参加できる環境を整備する
- ▶ 中学校は生徒会代表、高校生は地域でスポーツをしている代表を新しい組織の理事に 登用して、青少年世代の意見が反映できる体制を構築する
- ▶ 地域での多様なスポーツ・文化活動を通じての多様な体験、様々な世代との豊かな交流等を通じた学び ⇒ 国内交流沖縄派遣事業・ニュルンベルク青少年交流事業



地域で新町中学校の生徒の 活動を支える仕組みへ

【活動理念の共有】

- ・生徒(青少年)が中心となれる地域クラブ活動
- ・生徒(青少年)が自主的に楽しく取り組めて将来に役立つ活動となるように支援する

【理念を共有してもらいたい組織】

- ・新町中学校教職員、新町中学校PTA、生徒
- ・NPO法人新町スポーツクラブ等関係する地域指導者
- ・県・高崎市教育委員会
- ・県スポーツ振興課、県スポーツ協会、高崎市スポーツ協会

【地域クラブ活動受け皿組織】

・NPO法人新町スポーツクラブを発展的解消して一般社団法人 学校組織と一体になって協働活動ができる組織へ



新町中学校と



高崎市立新町中学校

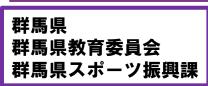
主役は生徒

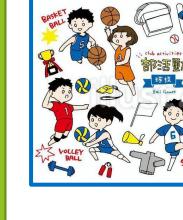
新町スポーツクラブは 密接に協働



高崎市立新町中学校 教職員・PTA







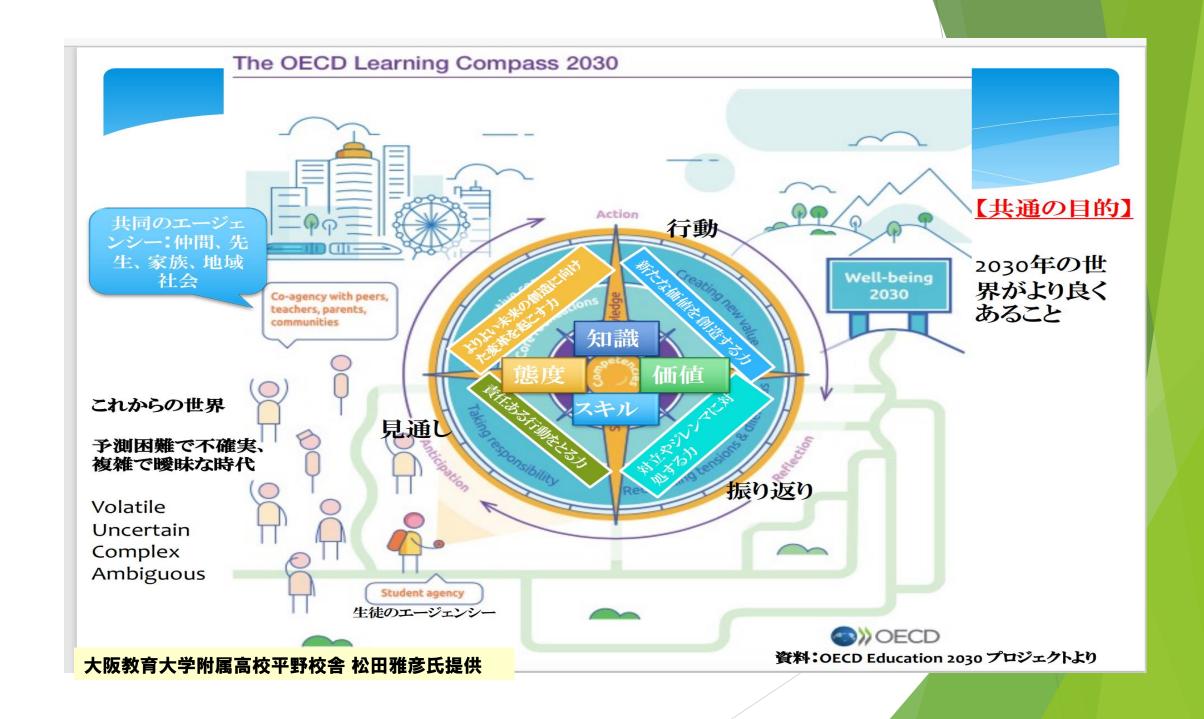


NPO法人新町スポーツ クラブ等地域指導者

支援・助言・連携

連携・支援

群馬県スポーツ協会









ドイツから学んだ青少年スポーツ・文化活動環境 地域だからこそできる地域クラブ活動の教育的意義

- ・地域スポーツクラブが人を育むから地域愛が育まれる
- ・地域愛があるから地域ボランティアが育まれる
- ・地域スポーツクラブは、民主主義の学校と呼ばれている 多世代で議論して物事を決定する仕組み

ドイツにおける青少年スポーツユーゲント組織





ドイツ国内 約90,000クラブ (全てフェアイン)の青少年層を スポーツユーゲント称しています。

6歳から27歳まで ドイツスポーツユーゲント 新町SVCスポーツ 少年団は1992年 (平成4年度)から ドイツのスポーツク ラブ型を目指して 活動をリスタート

NPO法人新町スポーツクラブは基本ドイツ的な組織づくり



スポーツが複数形 Sportsで分断

学校体育

競技スポーツ

(地域) 社会体育

生涯スポーツ

競技スポーツも生涯スポーツも種目別文化

スポーツ文化 スポーツは 1つ (Sport)

【部活動がほぼないドイツ】

青少年スポーツ・文化活動の場は、地域 内にある様々なクラブ(ファアイン) 指導者の謝金、会員の保険は、州と市 スポーツ協会から支援されている。 指導者の謝金は、基本1時間2€程度 州によっては1時間1€程度が支援

【ドイツの現在の課題】

学校が半日制から全日制に変化 学校内でスポーツ活動が必要になる しかし、普通の学校には広い校庭も体育 館がない。

ドイツも学校と地域の協働で検討中

共同通信社提供 小出は8月31日取材協力

堅実運営のドイツ型クラブ

指導者は住民、支出抑制

テナント料で収入増



部活

地

域

移

行

0

1999年から継続している中学生以上向け命について考える沖縄派遣研修事業







琉球王国の歴史から沖縄戦前後の歴史と現在の沖縄について、現地の人から学びマリンスポーツも沖縄の同世代と交流して楽しむ事業

コロナ禍だからできたニュルンベルク市スポーツユーゲントと 初の青少年オンライン国際交流会(2021.7.23~25)



不可能と思えたことをオンラインシステムで可能にした青少年達の知識と行動力



第8回ニュルンベルク市青少年国際交流派遣事業

- ① 交流目的は、日独両国のスポーツと文化交流を 通して、両国の良さを理解する
- ② 両国ともにホストファミリー形式で交流を行うこと で、生活の中でスポーツを体験し、相互に食文化、 生活様式等についても学ぶ機会となる



2006 ドイツW杯 日本対クロアチアの試合を 開催したニュルンベルクの スタジアム



幸せの泉の塔前で記念写真 ニュルンベルク市役所内 市長(オリンピック金メダリスト)と 記念写直

アルトドルフスポーツクラブ柔道場で スポーツ交流後に記念写真

報告書は、新町スポーツクラブ HPからダウンロードできます

ニュルンベルク市はドイツ近代史の歴史的遺跡がある街 ドイツの青少年は自国の近代史を深く学んでいる ドイツでは近代史を学び、地域を学ぶ=地域愛を育む そのことが、地域で役立つ人材育成となっている

第9回ニュルンベルク市青少年国際交流受入事業 ~~2023.8.9~8.18 企画運営はユースボランティア ~~



ドイツから学んだ環境をヒントに

新町スポーツクラブとして最も強い影響を受けてこと 青少年達の意見が反映される組織運営

子どもの身体活動に 「ダメ・禁止」は禁句 ⇒リスク管理できる 人材を育成できない

スポーツを 手段にしない 全ての世代が様々なスポーツを楽しむことで健康寿命を伸ばす

【 行政のみなさん、これは覚えて帰ってください 】

ドイツのスポーツクラブには、州スポーツ連盟から財政支援、土地の提供等の手厚い支援がある

- ・会費、保険代、指導者謝金の一部をスポーツ振興くじから支援している
- ・ドイツにおける青少年国際交流活動の補助金⇒ドイツスポーツユーゲント本部・州・市から補助金がある
- ・子ども達の環境を守るために行政部署の横の連携がしっかりしている



発達障がい児特別支援育成プログラム ノルトラインヴェットファーレン州フィルゼン郡市の取り組み

日本スポーツ界 大変革へ

新町スポーツクラブ として取組むこと

- 1 青少年は自主的に行動できる人材として育む
- ② 青少年から高齢者まで一緒にスポーツを楽しむ環境づくり
- ③ 全ての世代の健康寿命を伸ばす活動

- ・欧米のスポーツ指導にほぼ暴言暴力はない【見守る姿勢】ドイツは暴言暴力を働いた指導者に対して厳しい罰則がある
- ・欧米には、小中学生世代の全国大会はない トーナメント方式の大会は基本ない リーグ戦が中心 青少年世代に勝利至上主義を持ち込ませないため

暴力暴言がある指導方法の排除

種目文化から真のスポーツ文化へ

学校部活動の改革は、地域活性 化への大チャンス

